

平成 28 年度 学校経営方針

鍛える

生徒はダイヤモンドの原石と言える。誰もが柔軟な思考力、豊かな感性、伸びゆく身体を有しており、無限の可能性を秘めています。しかしながら、そのまま放置しては、いつまで待っても光り輝きません。教師が様々な刺激を与える(磨く)ことで、それぞれに違った輝き方を始めます。教科の学習はもとより行事、部活動、委員会活動等本校のすべての教育活動の中で、教師が生徒を鍛えることによって様々な輝きます。

そして鍛えられることによって、生徒はより高い目標に向けて、自分からがんばることを始め、自ら輝き始めます。その結果、生徒は自分の特性、資質を見出していき、無限の可能性を手に入れることができます。

開進一中では、生徒のあたま・こころ・からだ(知・徳・体)を鍛えて、真に生きる力をもった人間の育成をめざします。

1 学校経営理念(めざす学校像)

・「入ってよかった(生徒)・通わせてよかった(保護者・地域)・勤めてよかった(教職員)開一中」－子どもの幸福を第一に考え、そのための教育を実践する学校経営に努める－

・「授業の開一中」「行事の開一中」「部活動の開一中」の体現 －基礎基本の徹底、行事の充実、高め合う集団づくりをめざす－

・「チーム開一」＝教職員の結束→生徒＋教職員の結束→生徒＋教職員＋保護者・地域の結束－教師一丸、師弟の信頼、地域の誇り＝開一中－

2 学校教育目標

- (1) 自立した人
- (2) 誠実な人
- (3) 貢献する人

3 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 人権尊重教育の推進
- (2) 生徒を伸ばし鍛える教育の推進
- (3) 健全育成の推進
- (4) 信頼される学校づくりの推進

4 具体的な基本方針の内容

4 平成 24 年度の重点目標と具体的な取り組み

4 具体的な基本方針の内容

(1)人権尊重教育の推進

1:一人一人がかけがいのない人間として互いに尊重し合い、望ましい人間関係を築くよう支援していきます。

2:毎日の学習はもとより、行事・部活動等の活動を通して、一人一人が自己効力感、自己肯定感を味わえるよう、自信をもたせる指導を行います。

3:社会性や豊かな人間性をはぐくむため体験活動を重視し、計画的・系統的に推進していきます。

(2)生徒を伸ばし鍛える教育の推進

1:中学校教育活動の三本柱である「授業」「行事」「部活動」に一生懸命取り組む生徒の育成を図ります。

2:キャリア教育の充実を図り、自己理解に努め、将来の生き方について真剣に考える態度を養っていきます。

3:教科指導では、基礎・基本を徹底し、生徒の学習意欲を高め、学校全体で組織的に学力向上を図ります。

4:道徳の授業を中心に、あらゆる教育活動を通じて、豊かな感性をはぐくむと同時に日常生活における道徳的判断力を高めます。

5:体育の授業、部活動等を通して、進んで体を鍛える生徒の育成を図ります。

(3)健全育成の推進

1:生徒と生徒、生徒と教師の心のふれあいを通して、「楽しい学校」「明るい学校」「安心・安全な学校」と誰もが思える学校をめざします。

2:生活指導は温かさと厳しさをもってあたり、教職員の共通理解・共通実践の下、迅速な初期対応を基本に全校体制で取り組んでいきます。

3:元気なあいさつで一日が始まり、時間を守る、忘れ物をしない等の基本的生活習慣の徹底を図り、中学生らしい身だしなみを心がかせます。

4:物を大切に作る指導を徹底するとともに清潔で美しい環境、落ち着いた学校生活をめざし、心の教育の充実を図ります。

5:不登校やいじめの未然防止、早期発見、早期対応を合い言葉に校内体制はもちろんスクールカウンセラーや関係諸機関等との連携を緊密にしていきます。

(4)信頼される学校づくりの推進

1:基礎学力の充実、読書活動、系統的な「総合的な学習の時間」等を通じて、特色ある学習活動を推進します。

2:生徒のことを第一に考える教師、生徒・保護者・地域から信頼される教師、常に自分自身を高めようとする教師像を求めて、切磋琢磨し合う教師集団を構築します。

3:「地域と共に生きる学校」「愛される学校」「信頼される学校」を合い言葉に、学校・保護者・地域社会・関係諸機関が一体となり、心身ともに健全で地域に貢献できる生徒の育成をめざします。